

## 当JA農機事業・職員に多数の賞

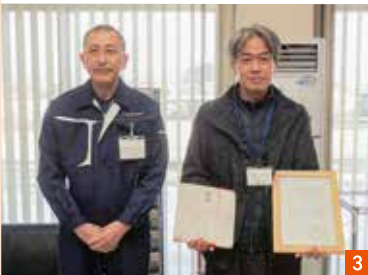
1月21日(土)、令和4年度「JA農機機械パワーアップ運動成果発表大会」が秋田キャッスルホテルで開催されました。当JAの農機担当職員が多くの賞を受賞したほか、当JAに共同購入トラクター計画達成JA賞と農機委員会表彰JA予約受注部門の最優秀賞が贈られ、当JAの農機事業における職員の日頃の成果が認められました。

当JA職員の受賞は以下の通りです。

### ●メーカー表彰

- 【三菱マヒンドラ農機賞】▽取闔賞  
賞Ⅱ小田嶋学マネージャー(雄和農機センター)【井関農機賞】▽優秀賞  
Ⅱ進藤豊一職員(弘戸農機センター)

- 農機委員会表彰
- 【修理整備料金部門】▽取闔賞  
(U-40)Ⅱ佐藤翔太主任(弘戸農機センター)【製品成約受注部門】



▽最優秀賞(U-40)Ⅱ小田嶋学マネージャー(雄和農機センター)

### ●功労賞

武田幸靖農業機械課長

### ●新人賞

三浦昂久職員(雄和農機センター)

2月7日(火)には「JA&クボタBIGTRYSセールスコンクール」の表彰式が行われ、拡販功績賞に追分農機センターの石塚栄太職員が、県別推進特別賞に雄和農機センターの鎌田剛職員が輝きました。

引き続き農業機械の修理や整備、最新機械の推進などを通して、生産者の支援に努めていきます。

### 1 ……修理整備や推進などの農機事業の成果が認められました

### 2 ……「JA&クボタBIGTRYSセールスコンクール」で受賞した職員

### 3 ……「JA&クボタBIGTRYSセールスコンクール」で受賞した職員

## NEWS & TOPICS

## 野菜の品種特性や栽培方法などを学ぶ

1月19日(木)、当JA野菜部会男鹿支部の野菜栽培講習会が男鹿地区営農センターで開催され、同センター管内の生産者が参加しました。スナックエンドウ「ニムラサラダスナック」を開発したヴィルモランみかど(株)を講師に迎え、スナックエンドウの仕立て方や収穫適期、ネギの最新品種の特性などを学びました。

1月23日(月)には直売所の出荷に向けた野菜の講習会が追分生活センターと雄和支店で行われました。(株)高井南茄園の金野豊秋常務がトマトやナス、ピーマンなどの春夏に播種する品種を解説し、生産者からは耐病性や農作業しやすい品種などの質問が上がりました。



スナックエンドウの適切な施肥設計を学ぶ生産者

## 枝豆販売額3年ぶりに1億円を達成

枝豆の令和4年度の販売額が、令和元年度以来3年ぶりに1億円を超えました。選別時の製品率が高く平均単価が昨年から向上し、販路の拡大なども奏功して、前年度比103.9%の1億160万円に上りました。今年度は17品種を、県内外の市場を中心に173.9トン出荷しました。朝採り事業「今朝採りたての枝豆」は取り扱い店舗の増加や消費者への定着が進み、販売額が同事業の開始以降最も高い1190万円(同比118.6%)を記録しました。

1月30日(月)に実績検討会と栽培講習会が雄和支店で開かれ、品質向上を目指して排水対策や品種特性、緑肥の効果などを学びました。



今年度の販売実績や来年度の方針を確認する生産者ら

